

☆ 視 点

最近のバングラデシュの縫製産業の業況

バングラデシュの縫製産業は、近年急速に拡大、同国経済の成長を支える産業となっているだけでなく、縫製産業は、低所得層や女性への雇用機会創出に多大な貢献をしている。

以下は最近のバングラデシュの縫製産業の概況である。

2013年の縫製工場数は5,625工場と2005年比33.3%増加した。雇用者数は410万人と2005年から倍増となった。雇用者数のうち、約80%を女性が占めている。2013年の衣類輸出額は245億ドル、2005年比で210%増(年率では13%増)と約3倍の規模に拡大した。衣類輸出は、同国の総輸出額の8割以上を占めている。

なお、2013年のバングラデシュの衣類輸出額は、WTOによると、中国(1,774億ドル)、EU28カ国(307億ドル)に次いで世界第3位となっており、ベトナム(172億ドル)、インド(168億ドル)、トルコ(154億ドル)などを上回っている。

バングラデシュの縫製産業の主要指標

	縫製工場数	従業員数 (100万人)	衣類輸出額 (億ドル)	同国の総輸出額に 占めるシェア(%)
2005	4,220	2.0	79.0	75.1
2010	5,150	4.0	179.2	78.2
2011	5,400	4.0	188.6	78.6
2012	5,600	4.0	215.1	79.6
2013	*5,625	*4.1	244.9	81.2
05年比	33.3	105.0	210.0	-

(注)年は年度ベース(7月～翌6月)、2013年度の*は12月現在の数値

2013年暦年の世界主要国の衣類輸出額(億ドル)

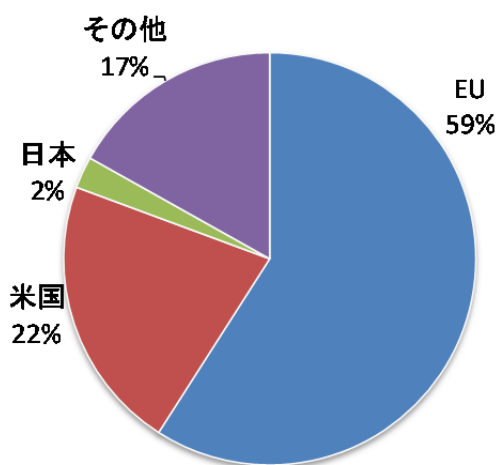
中国	1,774
EU(域外)	1,180
バングラデシュ	235
ベトナム	172
インド	168
トルコ	154
インドネシア	77

Bangladesh の衣類輸出を仕向地別にみると、EU 向けが 59%、米国向けが 22%と欧米で 8 割以上を占めている。

最大市場の EU 向けは、EU の LDC (後発発展途上国) に対する特恵関税制度によって、ベトナム等の競合国に比べ関税面での優遇があることが大きく寄与している。特に、2011 年に EU の特恵原産地規則が変更 (輸入テキスタイルを使用した衣類も無税対象に) されたことで、紡織基盤の弱い Bangladesh から衣類輸出が急増した。

一方で、同国の衣類輸出は競合が激しく、成熟市場である欧米市場に集中しており、Bangladesh の縫製業界では今後は市場の多角化が課題として、日本、中国、ロシア、韓国、南アフリカ等を潜在的市場とし輸出拡大を目指すとしている。特に、中国の繊維品市場は、Bangladesh の繊維業界団体によると、2020 年に 6,500 億ドル規模にまで拡大するとの見通しであり、現在 Bangladesh の中国向け衣類輸出は全体の 1%弱を占めるに過ぎないが、それを今後数年以内に 10 億ドル規模にまで拡大したいとしている。

Bangladesh の仕向地別衣類輸出 (2013 年)



Bangladesh の衣類輸出増加の背景には、主要輸入国の中国集中リスクの緩和 (チャイナプラスワン) や近年の中国の労務コストの上昇なども一因となっている。

Werner International によると、2014 年の主要国の紡織産業の時間当たり賃金は、世界最大の繊維品輸出国である中国は 2.65 ドル/時。これに対して、Bangladesh は近年急速に上昇したものの、0.62 ドル/時で中国の約 1/4 であり、ベトナム (0.74 ドル/時)、インドネシア (0.95 ドル/時) 等のア

アジア繊維品輸出国のみならず、メキシコ、トルコなどの欧米の主要繊維品供給と比較しても大幅に低い水準となる。

世界主要国の繊維産業の平均賃金(ドル/時)

		2008年	2011年	2014年	指数
アジア	バングラデシュ	0.31	-	0.62	23
	中国	1.88(沿岸) 1.44(内陸)	2.10	2.65	100
	インド	0.85	1.06	1.12	42
	インドネシア	0.83	1.08	0.95	36
	タイ	1.8	2.14	2.26	85
	ベトナム	0.57	0.60	0.74	28
	日本	30.81	31.36	25.1	947
米州	米国	17.41	17.57	17.71	668
	メキシコ	2.17	2.72	3.06	115
欧州	イタリア	22.31	21.87	22.67	855
	トルコ	4.27	4.5	5.48	207

(注) 指数は2014年の中国を100とした時の値。

一方で、バングラデシュの縫製業界では、近年、賃上げを求める労働者のデモ等が頻発していること、死者が1,000名を超えた2013年4月の縫製工場が入居するラナ・プラザビルの崩落事故などに代表されるような労働事故等があること、また、政情が不安定となる懸念、電力・インフラの未整備といった問題も依然として存在している。

労働・安全問題については、国際労働機関やNGOを中心に縫製工場の安全性確保のための国際合意が締結され、欧米の大手衣料品・流通企業が参加、また独自の企業連合やバングラデシュの業界団体などのアクションプラン策定によって改善を目指している。

繊維産業の強化については、現在バングラデシュ政府は、新しい繊維政策を策定中とのことであり、この中で輸出向け衣類の繊維品需要を国内生産で満たす目標を掲げるとみられている。こうした努力が奏功すれば、2020年までに衣類輸出の倍増(約450億ドル)という目標の道筋がみえてくると思われる。

(技術グループ 兼 業務調査グループ 川名)